

平成 25 年第 2 回定例会 文教常任委員会

平成 25 年 5 月 17 日

亀井委員

イコモス勧告に対する対応について伺いたいと思います。

県教育委員会として、今回の残念な結果の根本の原因は、分析しているのでしょうか。

文化遺産課長

武家の古都・鎌倉のコンセプトとしましては、武家政権が樹立され、それを基に武家文化が生み出された地であるということ、特徴的な地形を利用して成立した武家政権の所在地であるということを柱に説明をしまいましたが、そういった遺産の少なさから、私どもが主張していた部分が、イコモスには受け入れられなかったのではないかと考えております。

亀井委員

現存する施設が少ないことが原因ということですが、その対応策はあるのでしょうか。

生涯学習部長

物証が少ないということですが、現在、武家館が残っておらず、それを復元するということは難しいと思います。そして、建物全体の復元は難しいのですが、史跡部分の整備は、これまでも行っていることですので、今後も進めてまいりたいと思います。

亀井委員

一番ネックになっているのは、大倉幕府だと思います。大倉幕府の跡地は、まだほとんど発掘されておらず、遺跡調査もされていません。歴史的にも鎌倉幕府の中心地であるのに、これまで調査が行われてこなかったということは非常に残念ですが、この問題が今回の勧告に影響しているということはないのでしょうか。

生涯学習部長

確かに、武家政権発祥の地というコンセプトで、今回提案させていただきましたので、社寺や切通の物証はあっても、武家館や幕府が、目に見える形で、何もないというのは、やはり弱い部分であったと思います。

亀井委員

例えば、これを発掘するとした場合、鎌倉市や県だけでなく、国立大学の学校があることから、国も関係することになります。整備には、国や市のパイプが重要になると思うのですが、県の方針について、今まで行ってきたことを踏まえて教えてください。

生涯学習部長

大倉幕府の発掘以外の部分も含めまして、遺跡発掘調査等を行う場合は、国からの補助が大前提となっております、県と市が整備を行うということになります。

そして、新たな遺跡が発掘された場合は、それにつきましてもできるだけ整備していく方向性で、取り組んでまいりたいと考えております。

亀井委員

イコモス勧告後の対応について、推薦の取下げをした場合、コンセプトを変えらるということになるのでしょうか。

生涯学習部長

現在のコンセプトでございます、武家の古都・鎌倉は、武家政権が発祥した地であり、その文化が、現在に引き継がれている見本であるということで、今回推薦していただいたものでございます。今回、審査にかけまして、情報照会となった場合には、そのコンセプトがある程度継続されるということになると思います。取り下げてしまった場合は、今あるものを踏まえながら、新たに価値を探していくことになるものと考えております。

亀井委員

個人的には、武家、中世の歴史教育をもっと推進していく必要があると考えているのですが、その辺についてはどのように考えていますか。

生涯学習部長

県民の方全員が、鎌倉を世界遺産に推薦しているというのを理解されているわけではないと思います。今回、富士山は記載となり、鎌倉が不記載ということが報道されたということで、県民の方々に世界遺産へ推薦されていることを、御理解いただけたのではないかと思います。

こういうことを契機に、より一層、世界遺産登録について御理解いただける取組を進めていかななくてはならないと考えております。

亀井委員

私の質問は以上です。